

本文

【白文（訓点）】

楚人有_下①鬻_二盾_一與_二矛_一者_上。
譽_レ之_レ曰、「吾盾之堅、②莫_二能陷_一也。」
又譽_二其矛_一曰、「吾矛之利、③於_レ物無_レ不_レ陷也。」
或曰、「以_二子之矛_一、陷_二子之盾_一、④何如。」
其人⑤弗_レ能_レ應_レ也。

【書き下し文】

楚人に盾と矛とを①鬻ぐ者あり。

之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、②能く陷すもの^な莫きなり。」と。

又其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利きこと、③物に於いて陥さざる無きなり。」と。

或るひと曰はく、「子の矛を以て、子の盾を陥さば、④何如。」と。

其の人⑤応ふること能はざるなり。

設問

1. 傍線部①「鬻」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「鬻」の読み（送り仮名を含む）をひらがなで答えなさい。
 - (2) 「鬻」の意味を答えなさい。
2. 傍線部②「莫能陷也」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) ここで用いられている句法の種類（何を表すか）を答えなさい。
 - (2) 「莫」「能」の読みをそれぞれひらがなで答えなさい。
3. 傍線部③「於物無不陷也」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「無不」は二重否定の句法です。これがどのような意味を強めているか、簡単に説明しなさい。
 - (2) 「於物無不陷也」を書き下し文に直しなさい。
4. 「或曰」の「或」の読みと、ここでの意味を答えなさい。
5. 「以子之矛、陷子之盾」を現代語訳しなさい。なお「子」が誰を指すかがわかるように訳すこと。
6. 傍線部④「何如」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「何如」の読みをひらがなで答えなさい。
 - (2) 「何如」はどのような種類の表現か（何を表すか）を答えなさい。
 - (3) 「以子之矛、陷子之盾、何如」を現代語訳しなさい。
7. 傍線部⑤「弗能應也」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「弗（…ず）」と「能（よく）」が組み合わさって、ここではどのような意味（句法）を表しているか答えなさい。
 - (2) 「其人弗能應也」を書き下し文に直しなさい。
8. 商人が「応ふること能はざるなり（答えることができなかった）」のはなぜか。本文に即して、その理由をわかりやすく説明しなさい。
9. 本文中の「楚人有鬻盾與矛者」を書き下し文に直しなさい。
10. 「楚人有鬻盾與矛者」を現代語訳しなさい。
11. 「吾盾之堅、莫能陷也」を書き下し文に直しなさい。
12. 「吾盾之堅、莫能陷也」を現代語訳しなさい。
13. 本文中の「陷」の読み（送り仮名を含む）と意味を答えなさい。
14. 「吾矛之利、於物無不陷也」を現代語訳しなさい。
15. 本文中の「譽（誉）」の読み（送り仮名を含む）と意味を答えなさい。
16. 「其人弗能應也」を現代語訳しなさい。
17. この話で、商人の言葉の「どこ」と「どこ」が食い違っているか。二つの主張を取り出して、対比がわかるように書きなさい。
18. 故事成語「矛盾」の意味を答えなさい。また、この故事から得られる教訓を一つ、自分の言葉で書きなさい。

19. 次の文の空欄に「矛盾」を入れて使うとき、正しい使い方になっている文を考え、「矛盾」を用いた短文を一つ作りなさい。
20. この話の出典である『韓非子』について、次の小問に答えなさい。
- (1) 『韓非子』の中心となった思想（学派）の名を答えなさい。
 - (2) その学派が重んじた考え方を、簡単に一言で説明しなさい。
21. 『韓非子』の著者とされる人物名を答えなさい。また、その人物が生きたのはおおよそどの時代か（次から選びなさい：春秋時代の初め／戦国時代の末／後漢の時代）。
22. 「矛盾」と同じように、漢文の故事成語からできた言葉を、本文の「矛盾」以外に一つ挙げなさい。